

平成 24 年 6 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社ハピネス・アンド・ディ
代 表 者 名 代表取締役社長 田 泰夫
(コード番号 3174)
問 い 合 わ せ 先 取締役経営企画室長 追川 正義
T E L 03-3562-7525

大阪証券取引所 J A S D A Q 市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

本資料に記載する業績予想は、平成24年5月18日に公表した内容と同様のものです。

当社は、本日、平成24年6月22日に大阪証券取引所 J A S D A Q 市場へ上場いたしました。
今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の平成24年8月期(平成23年9月1日～平成24年8月31日)における業績予想は、以下のとおりであり、また最近の決算情報等につきましては別紙のとおりであります。

【単体】

(単位：百万円・%)

項目 \ 決算期	平成 24 年 8 月 期 (予想)			平成 23 年 8 月 期 (実績)		平成 24 年 8 月 期 第 2 四半期累計期間 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売上高	15,666	100.0	113.2	13,833	100.0	8,343	100.0
営業利益	607	3.8	138.5	438	3.1	446	5.3
経常利益	526	3.3	138.9	379	2.7	415	4.9
当期(四半期)純利益	301	1.9	139.0	216	1.5	236	2.8
1株当たり当期(四半期)純利益	308 円 22 銭			47,145 円 49 銭 (235 円 72 銭)		256 円 81 銭	
1株当たり配当金	20 円 00 銭			2,000 円 00 銭 (10 円 00 銭)		—	

(注) 1. 当社は子会社を有していないため、連結財務諸表は作成しておりません。

2. 平成 23 年 8 月 期 (実績) 及び平成 24 年 8 月 期第 2 四半期累計期間 (実績) の 1 株当たり当期 (四半期) 純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。また、平成 24 年 8 月 期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は公募株式数 (300,000 株) を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分 (最大 45,000 株) は考慮しておりません。

3. 平成 24 年 2 月 14 日付で 1 株につき 200 株の株式分割を行っております。そこで、当該分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を () 内に記載しております。

ご注意：この文章は記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書 (ならびに訂正事項分)」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

平成 24 年 8 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成 24 年 6 月 22 日

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ 上場取引所 大
 コード番号 3174 URL <http://www.happiness-d.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田 泰夫
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画室長（氏名） 追川 正義 (TEL) 03 (3562) 7525
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 8 月期第 2 四半期の業績（平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 8 月期第 2 四半期	8,343	—	446	—	415	—	236	—
23 年 8 月期第 2 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 8 月期第 2 四半期	256.81	—
23 年 8 月期第 2 四半期	—	—

(注) 当社は、平成 23 年 8 月期第 2 四半期において、四半期財務諸表を作成していないため、平成 23 年 8 月期第 2 四半期の数値及び平成 24 年 8 月期第 2 四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 8 月期第 2 四半期	5,846	1,046	17.9
23 年 8 月期	6,194	818	13.2

(参考) 自己資本 24 年 8 月期第 2 四半期 1,046 百万円 23 年 8 月期 818 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 8 月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
24 年 8 月期	—	0.00	—	—	—
24 年 8 月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 平成 24 年 2 月 14 日付で普通株式 1 株につき 200 株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成 24 年 8 月期の業績予想（平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	15,666	13.2	607	38.5	526	38.9	301	39.0	308.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年8月期第2Q	920,000株	23年8月期	920,000株
② 期末自己株式数	24年8月期第2Q	一株	23年8月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年8月期第2Q	920,000株	23年8月期2Q	一株

(注)平成24年2月14日普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、平成24年2月14日付で普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から緩やかに持ち直しているものの、欧州債務危機や長期化する円高から、輸出企業の業績悪化懸念により先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社では魅力ある商品の拡充と鮮度管理を徹底し、適正在庫を維持することに継続的に取り組んでまいりました。

また、商品施策としては、高額品の販売状況が好転してきたため時計、バッグ・小物を中心に高額品の品揃えを増やしてまいりました。その結果、時計においては、ファッション時計が好調であったことにより、売上高は1,790,838千円、バッグ・小物においては、高額品の回復により、売上高は4,744,878千円となりました。

さらに、当第 2 四半期累計期間に宝飾催事を24店舗、アウトレットセールを4店舗で開催し、販売促進を強化することで売上向上に努めてまいりました。また、3店舗において店内改装工事を実施することで、顧客ニーズに合った商品陳列や店づくりを推進してまいりました。

以上の結果、当第 2 四半期累計期間の売上高は 8,343,424 千円、営業利益は 446,736 千円、経常利益は 415,693 千円、四半期純利益は 236,265 千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第 2 四半期会計期間末における流動資産の残高は、4,777,467千円となり、前事業年度末と比較して301,910千円減少しております。これは主として、新店オープンにむけて商品が349,500千円増加したものの、現金及び預金が501,901千円減少、売上債権の回収により売掛金が150,991千円減少したことが要因であります。

(固定資産)

当第 2 四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,069,160千円となり、前事業年度末と比較して45,716千円減少しております。これは主として、減価償却により建物が40,706千円、工具、器具及び備品が30,062千円減少したものの、新規出店のための敷金及び保証金が10,904千円増加したことが要因であります。

(流動負債)

当第 2 四半期会計期間末における流動負債の残高は、3,131,891千円となり、前事業年度末と比較して510,349千円減少しております。これは主として、法人税・住民税・事業税等の増加により未払法人税等が105,612千円増加したものの、返済により短期借入金が259,736千円、1年内返済予定の長期借入金が265,406千円減少したことが要因であります。

(固定負債)

当第 2 四半期会計期間末における固定負債の残高は、1,668,106千円となり、前事業年度末と比較して65,414千円減少しております。これは主として、運転資金調達のための新規社債発行によって社債が103,900千円増加したものの、返済により長期借入金が135,209千円減少したことが要因であります。

(純資産)

当第 2 四半期会計期間末における純資産の残高は、1,046,630千円となり、前事業年度末と比較して228,137千円増加しております。これは主として、当四半期純利益236,265千円の計上による利益剰余金の増加が要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して504,980千円減少し、当第 2 四半期会計期間末には1,289,818千円となりました。

当第 2 四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は205,292千円となりました。これは主として、法人税等の支払額79,533千円、たな卸資産の増加340,938千円等による減少があったものの、売上債権が146,559千円減少し、税引前四半期純利益404,231千円及び減価償却費81,055千円等による増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は37,912千円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出14,565千円、無形固定資産の取得による支出7,912千円及び敷金及び保証金の差入による支出11,178千円等による減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は672,360千円となりました。これは主として、長期借入れによる収入320,000千円、社債の発行による収入295,852千円及び短期借入れによる収入100,000千円等があったものの、長期借入金の返済による支出720,615千円、短期借入金の返済による支出359,736千円、社債の償還による支出226,100千円及びリース債務の返済による支出52,952千円等による減少があったことによるものであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成 24 年 8 月期の業績予想につきましては、平成 24 年 5 月 18 日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。なお、業績予想の前提条件は以下のとおりであります。

（売上高）

売上高は、既存店における改装工事やレイアウト変更の実施により、顧客ニーズに合った商品陳列や店づくりを推進した他、アウトレットセールや宝飾催事などの販売促進企画等の施策に加え、平成 24 年 3 月に「ハピネス久御山店」、平成 24 年 4 月に「ハピネス福津店」「ハピネス船橋店」「ハピネス川口店」、平成 24 年 6 月に「ハピネス釧路店」の計 5 店舗を新規出店することにより 15,666 百万円（前期比 113.2%）を見込んでおります。部門別売上は宝飾 3,306 百万円、時計 3,362 百万円、バッグ・小物 8,909 百万円、メガネ等 87 百万円を見込んでおります。

（売上総利益）

売上総利益は、上記記載の売上増加に伴い 3,931 百万円（前期比 112.7%）、売上総利益率は 25.0%を見込んでおります。

（営業利益）

販売費及び一般管理費は、新規出店や従業員数の増加等に伴い 3,324 百万円（前期比 109.0%）を見込んでおり、営業利益は 607 百万円（前期比 138.5%）を見込んでおります。

（経常利益）

経常利益は 526 百万円（前期比 138.9%）を見込んでおります。

(当期純利益)

当期純利益は 301 百万円 (前期比 139.0%) を見込んでおります。

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示

会計方針の変更

第 1 四半期会計期間より、「1 株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第 2 号 平成 22 年 6 月 30 日)、「1 株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 4 号 平成 22 年 6 月 30 日公表分) 及び「1 株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第 9 号 平成 22 年 6 月 30 日) を適用しております。

平成 24 年 2 月 14 日付で普通株式 1 株につき 200 株の株式分割を行っておりますが、期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

(追加情報)

第 1 四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第 24 号 平成 21 年 12 月 4 日) 及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 24 号 平成 21 年 12 月 4 日) を適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 8 月31 日)	当第 2 四半期会計期間 (平成24年 2 月29 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,071,915	1,570,013
売掛金	919,347	768,356
商品	1,891,146	2,240,647
貯蔵品	102,990	94,428
その他	93,977	104,022
流動資産合計	5,079,378	4,777,467
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	406,600	365,894
構築物(純額)	204	194
工具、器具及び備品(純額)	226,321	196,259
リース資産(純額)	16,696	15,061
有形固定資産合計	649,822	577,408
無形固定資産		
リース資産	36,415	35,929
その他	9,877	15,737
無形固定資産合計	46,292	51,667
投資その他の資産		
敷金及び保証金	374,568	385,472
その他	48,442	58,411
貸倒引当金	△4,250	△3,800
投資その他の資産合計	418,761	440,084
固定資産合計	1,114,876	1,069,160
資産合計	6,194,255	5,846,628

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 8 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成24年 2 月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,116,051	1,120,374
短期借入金	342,336	82,600
1年内返済予定の長期借入金	1,349,893	1,084,487
1年内償還予定の社債	342,200	312,200
未払法人税等	79,470	185,083
賞与引当金	63,736	62,709
資産除去債務	1,963	3,491
その他	346,590	280,945
流動負債合計	3,642,241	3,131,891
固定負債		
社債	401,800	505,700
長期借入金	1,180,239	1,045,030
資産除去債務	62,177	61,211
その他	89,304	56,164
固定負債合計	1,733,520	1,668,106
負債合計	5,375,762	4,799,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,000	23,000
資本剰余金	10,350	10,350
利益剰余金	790,861	1,017,926
株主資本合計	824,211	1,051,276
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,718	△4,646
評価・換算差額等合計	△5,718	△4,646
純資産合計	818,492	1,046,630
負債純資産合計	6,194,255	5,846,628

(2) 四半期損益計算書

【第 2 四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 9 月 1 日 至 平成24年 2 月29日)
売上高	8,343,424
売上原価	6,245,244
売上総利益	2,098,180
販売費及び一般管理費	1,651,443
営業利益	446,736
営業外収益	
受取利息	505
受取配当金	110
受取手数料	307
受取奨励金	162
その他	320
営業外収益合計	1,407
営業外費用	
支払利息	23,463
社債利息	2,047
社債発行費	4,147
その他	2,791
営業外費用合計	32,449
経常利益	415,693
特別利益	
受取保険金	694
特別利益合計	694
特別損失	
固定資産廃棄損	1,202
減損損失	10,952
特別損失合計	12,155
税引前四半期純利益	404,231
法人税等	167,966
四半期純利益	236,265

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 9 月 1 日 至 平成24年 2 月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	404,231
減価償却費	81,055
減損損失	10,952
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△450
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,026
商品保証引当金の増減額 (△は減少)	△410
受取利息及び受取配当金	△616
支払利息	23,463
社債利息	2,047
受取保険金	△694
固定資産廃棄損	1,202
売上債権の増減額 (△は増加)	146,559
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△340,938
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,323
未払金の増減額 (△は減少)	△37,810
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,354
その他	17,993
小計	312,238
利息及び配当金の受取額	386
利息の支払額	△28,493
保険金の受取額	694
法人税等の支払額	△79,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	205,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△3,078
有形固定資産の取得による支出	△14,565
無形固定資産の取得による支出	△7,912
投資有価証券の取得による支出	△1,902
敷金及び保証金の差入による支出	△11,178
敷金及び保証金の回収による収入	274
その他	450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,912
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	100,000
短期借入金の返済による支出	△359,736
長期借入れによる収入	320,000
長期借入金の返済による支出	△720,615
社債の発行による収入	295,852
社債の償還による支出	△226,100
長期未払金の返済による支出	△19,609
リース債務の返済による支出	△52,952
配当金の支払額	△9,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△672,360
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△504,980
現金及び現金同等物の期首残高	1,794,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,289,818

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。